

●降誕主日

泉のほとり

今月の詩編「第四十六編」

万軍の主は

わたしたちと共にいます。

ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。



栄光の神が

最高法院に引き渡されたステファノ。彼は、神とアラハムが結ばれた契約の内容を語り始めました。かつて神はアラハムに「あなたの土地と親族を離れ、わたしが示す地に行きなさい」と言われました。子が与えられていなかった彼が示す地に行くなら、子を与えると約束されたのです。彼は示された地カナンにやってきました。しかし、神はこの地に所有地をお与えになりませんでした。そのため、彼は天幕暮らしを続け、寄留者として生活しました。

神は彼に約束されます。「この地を所有地として与え、子孫に相続させる」。更に「子孫は、外国に移住し、400年の間、奴隷にされて虐げられる」。しかし、彼らはその国から脱出し、この場所であつたを礼拝する」と。この約束が果たされるのは、彼の死後です。カナンの土地を所有しないとお告げでもありません。更に割礼による契約を結ばれます。契約を通して、ご自分の前には全てを表し、誠実に、真実に生きること求められたのです。

アラハムは、土地はなくとも、カナンの中どこに移り住もうとも神がおられました。神と共に歩み、約束を守り、カナンから一歩も離れず、とどまり続けます。24年が経ち、アラハムは99歳になります。その時、神はアラハムに「来年、あなたに男の子が生まれる」と告げるのですが、彼は不可能だと諦めていました。その翌年イサクが生まれます。生き生きとした子を見て、抱きしめていた彼は、真実な神、神に不可能なことは何もないと心に刻まれるのです。更にイサクからヤコブが生まれます。子孫が増え続けていくのです。遠い将来の事柄まで、全てを成し遂げようとしておられる神。神と

の揺るぎない関係が築き上げられていました。もはや土地の有無、割礼の有無が重要ではありませんでした。神と共に歩む。神への全き信頼に生きるのみでした。

神は約束通り、彼の子孫イスラエルにカナンの土地をお与えくださいました。それゆえに最高法院にいるものたちには土地が与えられ、神殿が建てられていました。割礼も受け継いでいました。しかし、彼らは御子イエスを十字架へと追いやってしまいました。多くのしるしを持つていても、真に神を愛し、神と共に歩んでいく、信仰はなかつたのです。

クリスマス。神は幼子の名を「イエス」と名付けなさい」と言われました。イエスの別の名はインマヌエル、「神我々と共におられる」という意味です。人と共に歩むことが神の御心であることが示されています。

イエス・キリストは、来てくださいました。教会に召されたものたちとご自分の血による契約を結んでくださいました。人の罪の赦しのためです。老夫婦からも命を造られた全能の御力によって、人の罪を癒し、人を新しく生まれさせ、完全な救いへと導くためです。主と尊い血による契約を結んでいるものにとつて、栄光の神、キリストと共に歩んでいくこと以上に、大切なもの、重要なもの、優先することがほかにあるのでしょうか。

アラハムは土地がなくても、目に見えるしるしがあつても、なくても、神を愛し、神と共に歩み続けました。信仰の父の姿を心に刻みつつ、わたしたちも、何も手にしていなくても、神を愛し、神への全き信頼の中で、いつまでも神と共に歩んでいく、その信仰が授けられるよう、祈り求めていきたいと思えます。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○今日はクリスマス礼拝です。礼拝の中で転入会式を行います。

○礼拝後、地下ホールで祝会を行います。その中で、新しく群れに加えられた兄弟の紹介を行います。

○二四日(火)一八時より、クリスマス・イブ礼拝を行います。

○次週は年末礼拝です。通常通りの時間と場所です、子ども礼拝と主日礼拝を行います。

○一月二日(木)二〇時から聖書通読会を行う予定です。今回はヤコブの手紙を読みます。場所は地下ホールです。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《憩いのみぎわ編集室より》

長らくお待たせしていました「憩いのみぎわ・最終号」は、本日二二日(日)発行され皆さまの状差しに配布されました。教会員の皆さまに支えられて二八年間、発行を続けて来られましたことを深く感謝いたします。

《運営委員会より》

○教会員懇談会を次のとおり開催します。よろしくご参加ください。

・日時 一月二日(日) 一三時開始(目途)一時間程度
二十歳を迎えた方を祝う交わりの会の後、昼食休憩を挟んでから開始予定です。

・場所 地下ホール

・概要 今年四月に設置された検証委員会(山名書記、館山役員で構成)からの報告をお聞きします。続く一月二六日(日)の教会研修会に向けた心備えの時としたいと思います。

《ルツの会より》

二九日の礼拝後、公開ルツの会をカナンルームで行います。出エジプト記一三〜一四章を学びます。聖書、讚美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《教会事務所より》

一二月二六日(木)〜一月六日(月)まで、冬季休業いたします。二月六日は附属幼稚園の預り保育のみ有。期間中は、礼拝、通読会の日を除き教会施設内に入ることができなくなります。ご承知おきください。

《今月の詩篇》

【詩篇四十六篇】

指揮者に合わせて。コラの子の詩。アラモト調。歌

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。

苦難のとき、必ずそこにいます
助けてくださる。

わたしたちは決して恐れない

地が姿を変え

山々が揺らいで海の中に移るとも

海の水が騒ぎ、沸き返り

その高ぶるさまに山々が震えるとも。

大河とその流れは、神の都に喜びを与える

いと高き神のいます聖所に。

神はその中にいますし、都は揺らぐことがない。

夜明けとともに、神は助けをお与えになる。

すべての民は騒ぎ、国々は揺らぐ。

神が御声を出されると、地は溶け去る。

万軍の主はわたしたちと共にいます。

ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。

主の成し遂げられることを仰ぎ見よう。

主はこの地を圧倒される。

地の果てまで、戦いを断ち

弓を砕き、槍を折り、盾を焼き払われる。

「力を捨てよ、知れ

わたしは神。

国々にあがめられ、この地であがめられる。」

万軍の主はわたしたちと共にいます。

ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。

《次週の礼拝》

年末礼拝

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「救い主を待ち望んでいたシメオン」

聖書 ルカ2章22〜32節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 114番 239番

説教 「救い主を追いやる世界」

聖書 マタイ2章13〜23節

説教者 黄允湜 牧師





クリスマス礼拝 (午前10時)

讃美歌 106番 102番
説教 「喜びを見つけた旅」
聖書 マタイ2章1～12節(新約 P.2)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「お生まれだ、イエス様が」D.ウット

○讃美歌106番

1. あら野のはてに 夕日は落ちて

たえなるしらべ 天よりひびく ※

※くりかえし

グローリヤ イン エクセルシス デオ

グローリヤ イン エクセルシス デオ

2. ひつじをまもる 野べのまきびと

あめなるうたを よろこびききぬ ※

3. みうたをききて ひつじかいらは

まぶねにふせる み子をおがみぬ ※

4. 今日しも御子は うまれたまいぬ

よろずの民よ いさみてうたえ ※

アーメン

○聖歌隊による讃美

「神の御子は」(讃美歌111番)

神の御子は今宵しも

ベツレヘムに生まれたもう

いざや友よ もろともに

急ぎゆきて 拝まずや

とこしなえのみことばは
今ぞ人となりたもう
待ち望みし主の民よ
急ぎゆきて 拝まずや
アーメン

○讃美歌102番

1. もろびと声あげ よろこび称えよ

かみのめぐみ この世に現われ

ダビデの村の いぶせき馬屋に

きよき御子は うまれたもう

2. もろびと声あげ 喜びたたえよ

あめのとびら 今しも開かれ

つきせぬめぐみを 身に帯び給いて

きよきみ子は うまれたもう

3. もろびと声あげ 喜びたたえよ

死のおそれを 追いやりたまいて

よき音ずれを あまねく伝うる

きよきみ子は うまれたもう

アーメン

聖餐曲「いずこの家にも」A.ヘンライ

「ベツレヘムの小さな町で」O.パーク

後奏曲 ヘンデルのテーマ「汝の頭をあげよ」

によるマーチ A.ギルマン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。